

平成 28年度 委託研究開発成果報告書

I. 基本情報

事業名： (日本語) 革新的技術による脳機能ネットワークの全容解明プロジェクト
(英語) Brain Mapping by Integrated Neurotechnologies for Disease Studies
(Brain/MINDS)

研究開発課題名： (日本語) 大規模脳画像解析とヒト-霊長類トランスレータブル脳・行動指標開発にもとづく精神・神経疾患の病態神経回路解明
(英語) Identification of brain circuits in psychiatric disorders using neuroimaging and translatable brain markers

研究開発担当者 (日本語) 国立大学法人 東京大学 医学部附属病院 教授 笠井 清登
所属 役職 氏名： (英語) The University of Tokyo, Graduate School of Medicine, Professor, Kiyoto Kasai,

実施期間： 平成 28年 4月 1日 ～ 平成 29年 3月 31日

分担研究 (日本語) モデル動物の分子モーター解析
開発課題名： (英語) Analysis of molecular-motor in animal models

研究開発分担者 (日本語) 国立大学法人 筑波大学 医学医療系 教授 武井 陽介
所属 役職 氏名： (英語) University of Tsukuba, Faculty of Medicine, Professor, Yosuke Takei

II. 成果の概要 (総括研究報告)

研究開発代表者：国立大学法人 東京大学 医学部附属病院 教授 笠井 清登 総括研究報告を参照。

III. 成果の外部への発表

(1) 学会誌・雑誌等における論文一覧 (国内誌 1件、国際誌 0件)

1. 武井陽介、廣川信隆. 微小管結合蛋白による NMDA 受容体輸送調節と神経可塑性. 日本顕微鏡学会誌『顕微鏡』2016,51, 9-12.

(2) 学会・シンポジウム等における口頭・ポスター発表

1. 微小管関連蛋白による NMDA 受容体輸送サポートと神経可塑性への影響、ポスター発表、武井陽介、第 39 回日本神経科学大会、2016/07/20、国内
2. 精神医学と形態学、口頭、武井陽介、第 38 回日本生物学的精神医学会、第 59 回日本神経化学大会合同年会、2016/09/08、国内
3. Staufen-1 が Pura を含む mRNA 複合体の樹状突起内輸送とシナプス局在に与える影響、口頭、武井陽介、三守和彦、廣川信隆、第 122 回日本解剖学会総会・学術集会、2017/03/28、国内

(3) 「国民との科学・技術対話社会」に対する取り組み
なし